

◎岐阜笠松線

路線の概要

現在の計画

- 岐阜笠松線は、昭和21年の戦災復興都市計画において岐阜市の中心部から南部周辺部の幹線街路として、金園町5丁目～新所平島線までが都市計画決定されました。
- その後、延長や幅員等が変更され、現在は金園町5丁目～柳津町栄町を起終点とし、計画延長5,630m(うち岐阜市域4,360m)、標準幅員15m、2車線の幹線街路として都市計画決定しています。

整備状況

- 【金園町5丁目～加納安良町交差点】
 - 改良済
- 【加納安良町交差点～城東通3丁目交差点】
 - 未改良で現道があります。
- 【城東通3丁目交差点～柳津町栄町】
 - 改良済



見直しの理由・内容

路線の主な役割・機能

- 岐阜市中央部と笠松町を結ぶ都市幹線街路として、まちづくりの骨格を形成する機能が求められています。

見直しの理由 変更

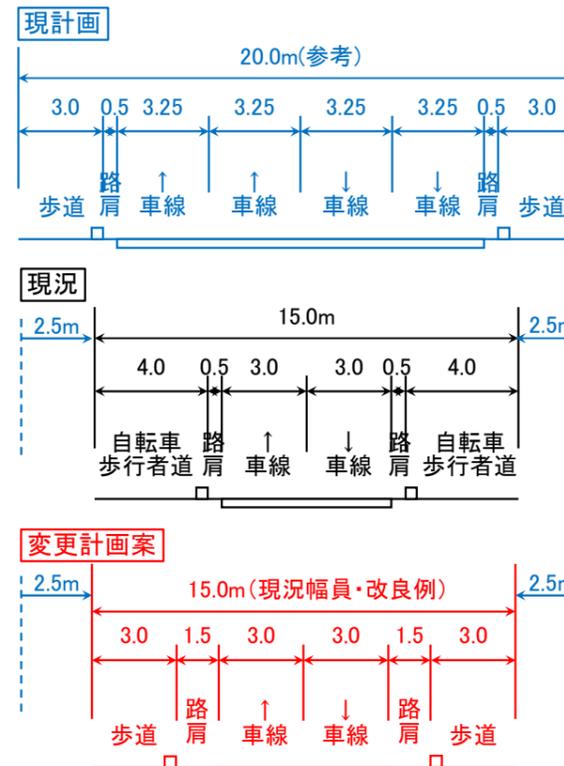
車線数の変化

- 4車線で計画されていますが、将来交通量予測によると**現道車線数(2車線)でも対応が可能**であり、岐阜市中央部と笠松町を結ぶ幹線街路としての機能を果たせると考えられます。
- 北側に隣接する区間(加納安良町交差点以北)及び南側に隣接する区間(城東通3丁目交差点以南)は、**既に2車線で改良済**となっており、**道路の連続性を考慮すると、当区間も2車線で十分**だと考えられます。

歩行者・自転車の状況

- 高校に近い歩行者・自転車の配慮が特に必要と考えられますが、既に両側に幅員4mの自転車歩行者道が整備されており、**現道でも十分な幅員が確保できている**と考えられます。

道路断面図(参考)



都市計画変更(案)の内容

【3・5・31 岐阜笠松線】

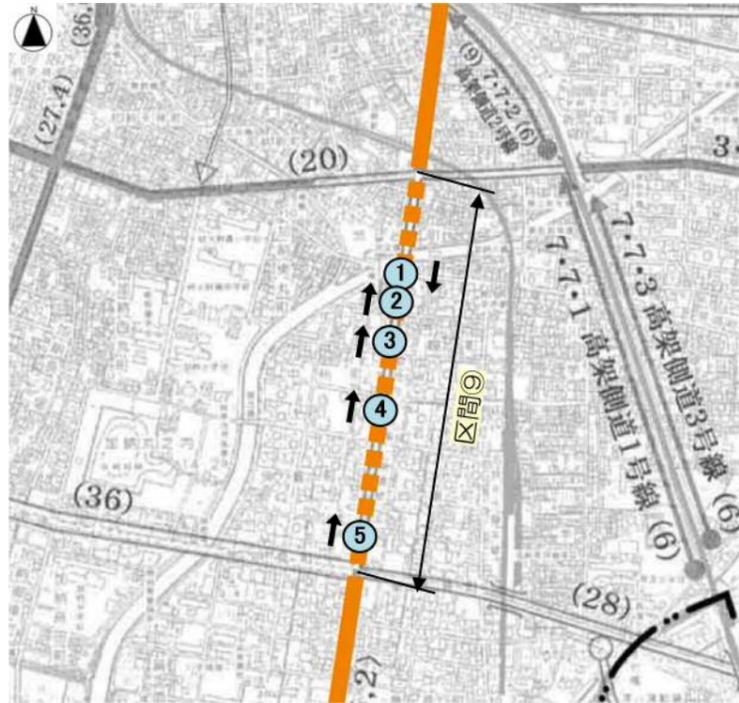
- 加納安良町交差点から城東通3丁目交差点までの延長約800mの区間は、計画幅員20m・4車線から現況幅員15m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小・車線数減少)」と考えます。

都市計画変更(案)平面図



◎岐阜笠松線

現地の状況写真



1



2



3



4



5

